

宮中取水ダム減水区間における 令和5年度モニタリング調査結果報告

令和6年3月

信濃川中流域水環境改善検討協議会

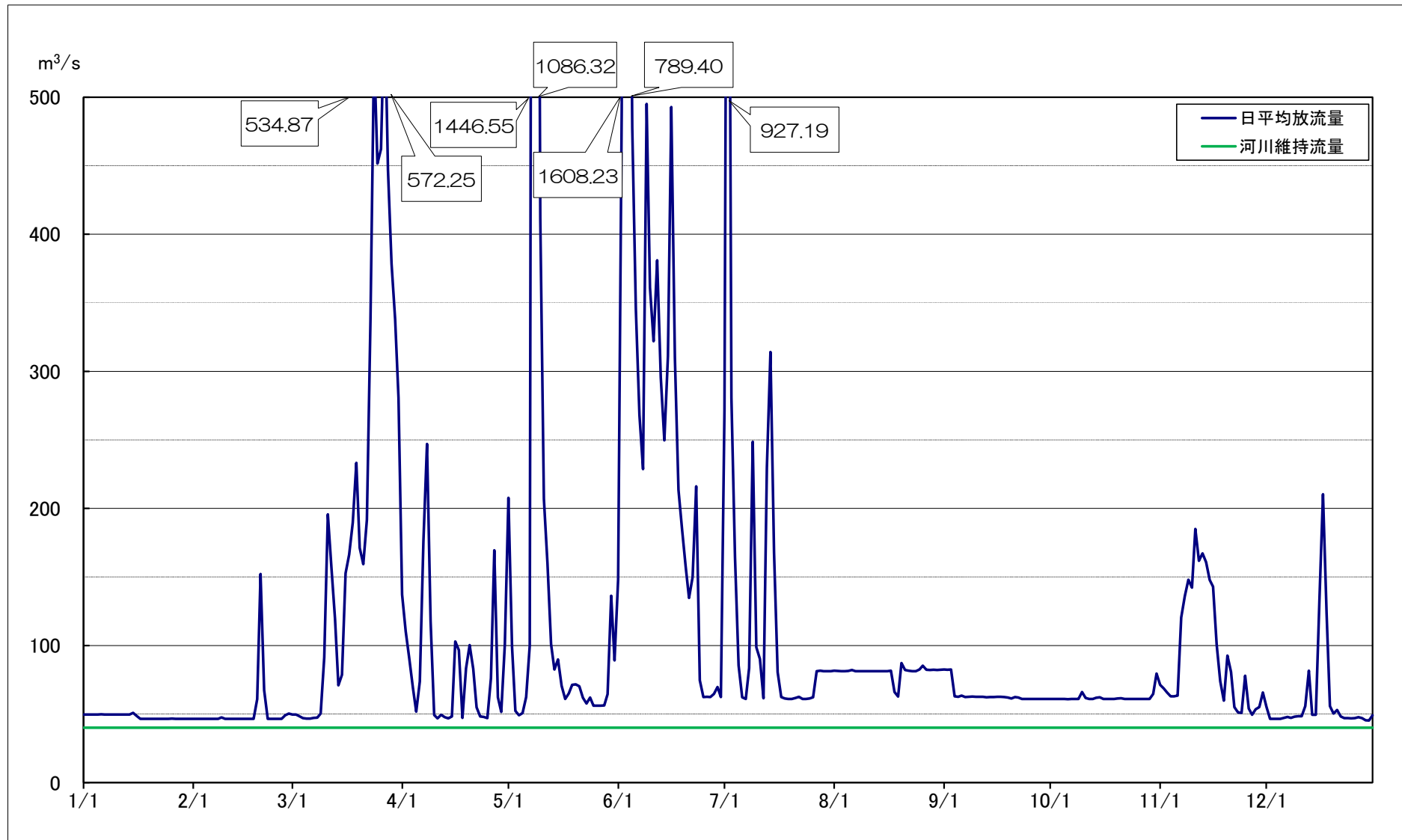
目 次

1. 令和5年度宮中取水ダム減水区間の概況	1
2. 令和5年度宮中取水ダム減水区間モニタリング調査の実施内容	2
3. 河川水温調査	3

1. 令和5年度宮中取水ダム減水区間の概況

1-1 令和5年の宮中取水ダム放流量

「信濃川中流域の河川環境改善に係わる提言」(H21.3)に基づき、宮中取水ダムでは、河川維持流量として $40\text{m}^3/\text{s}$ を放流している。



注1) 宮中取水ダム放流量は日平均値である。

注2) 6/1~11/10においては、河川維持流量 $40\text{m}^3/\text{s}$ によらず $60\text{m}^3/\text{s}$ 以上を放流している。

2. 令和5年度宮中取水ダム減水区間 モニタリング調査の実施内容

第35回信濃川中流域水環境改善検討協議会（以下「第35回中流域協議会」）にて決定された調査計画に基づき、以下のとおり実施した。

項目	調査内容	調査目的	実施日
河川水温	水温実測	第35回中流域協議会において、「河川水温は、宮中取水ダム魚道の水温実測結果を用いた水温回帰モデルにより川井大橋、栄橋、十日町橋の夏季高水温期の日最高水温を計算する。」とされたことから、宮中取水ダム魚道における調査を実施した。	令和5年7月26日～9月5日 （夏季の高水温を考慮する期間）

3. 河川水温調査

3-1 調査概要

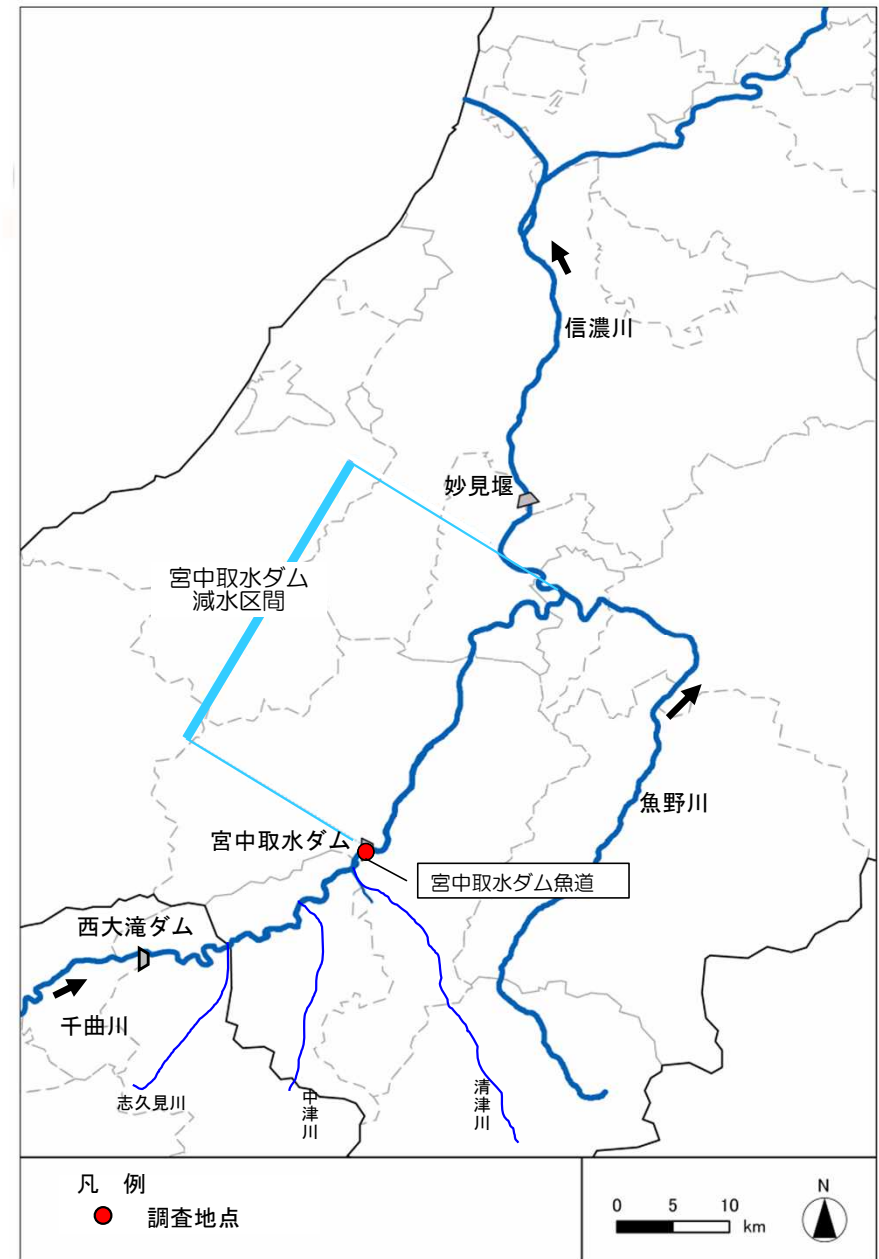
○調査目的

減水区間の水温を推定して水温回帰モデルを用いた評価を実施するため、推定に必要な宮中取水ダム魚道において、夏季の高水温を考慮する期間に水温実測を実施した。

○調査方法

調査地点は、第35回中流域協議会において定められた宮中取水ダム魚道の1地点とした。

調査機器は、過年度調査と同様に自記式水温計を設置し、10分間隔で連続観測を実施した。



3-2 水温計設置箇所詳細



凡例

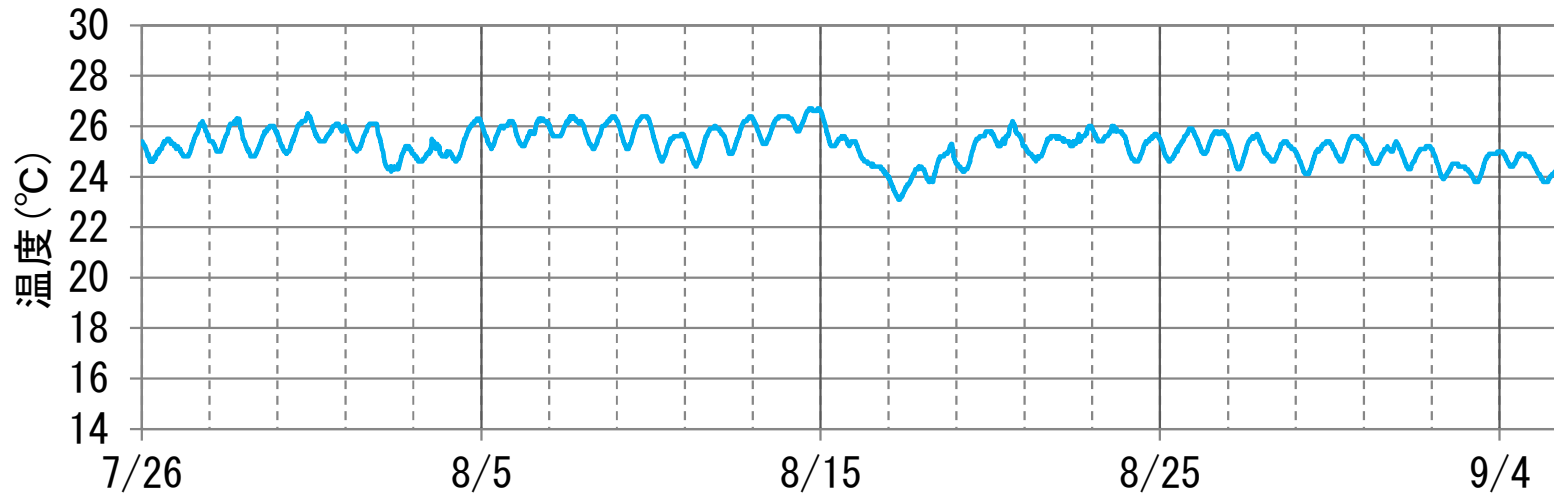
- ①：水温計設置箇所(魚道内)
- ②：補完水温計設置箇所(魚道出口付近の貯水池内)



(令和4年6月23日撮影)

宮中取水ダム魚道水温計設置箇所

3-3 水温測定結果



— 宮中取水ダム魚道（河川水温）

河川水温測定結果

河川水温測定結果の概要

項目	宮中取水ダム魚道
日最高水温の期間平均 (°C)	25.8
期間平均水温 (°C)	25.2
期間最高水温 (°C) (発生日)	26.7 (8月14日)
期間最低水温 (°C) (発生日)	23.1 (8月17日)